第236号 1909. 10. 12.

明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可　日曜及祭日の翌日休刊（月火水木金土）　明治四十二年十月十二日　第二百卅六號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●京城私信

◎啓上、さしも猖獗を極めたる虎疫も當局者の鋭意防疫に盡瘁せられたる一般民人の衛生清潔に留意したるに依りて殆んど終滅の期に近づき申候、惡疫の流行は決して歓迎すべき事にはあらざる可きも此の際拂ひたる高う幾牲によりて一般民人をして平常衛生清潔の忽にす可らざるを現實に覺悟せしめたる精神的教訓の價値は多大なるものと存ぜられ候、果して然らば此の間の幾牲者も無意味なる死を遂げたるには非ざりしものと云ふを得べく聊か以て慰むべき乎。

◎然は云へ其の幾牲となりし死者及び其の遺族に對して余は衷心より哀悼の意を致す當に有之候、就中其の防疫事務に勤掌したる結果病毒に感染し職に殉ぜられたる官公吏諸君其の同僚諸君及び遺族諸君に對し一般民人に代りて感謝の意を表明致すことに躊躇致さず候、意ふに一般民人間にありても不同意ある可らざることゝ確信罷在候。

◎此れに就き本紙平民文庫欄投書家の所謂防疫官公吏い慰勞親睦會等の開催は最も其當を得たる提唱と歓迎すべきものと被存候。

◎南山本願寺別院にては女中會なるものを設けられ昨日曙を以て開會式を擧げられたる由に御座候其の趣旨とする所は『婦人としての心得諸般を誨へ一面母國を去り而も他人に寄食する彼等に幾分の慰安を與へん』との事にして毎月十日、廿日の二回宛を開會し講話、餘興、茶菓接待等も有之候由に御座候、近頃最も必要有益なる企と存候雇主諸君たるものは此の會合を助長すべき責任あるものと承知せられ度希望致申候。

●本年度施設事業

本年度上半期に於て學部の施設に係る事業の大要は左の如し

▲補助指定普通學校　光武十年學制改革以來漸次設立されたる官公立普通學校は六十校に上れるも是にては到底普通教育の普及に不充分なれども財政の制限あり增設するを得ざるを以て地場の適否、維持の確實、成績の良否等を考へて補助學校とし日人教官一人韓副訓導一人宛を派し其俸給を國庫支辨維持費は學校持とせり此種の學校の本年上半期に指定されしもの三十一校あり

▲高等學校增設　從來京城に一校なりしも不足なるを以て平壤官立日語學校を高等學校とし職員及其他組織を改善擴張したり

▲實業教育の開始　同教育普及の切實を認め爲に同學令を布き質實にして最も時世に恰當すべき實業的人物養生に傾注し先手初として從來の仁川官立日語學校を同實業學校に改造せり

▲同時釜山開成學校を學部に引繼ぎ全然組織を改更し公立實業學校となし同學豎に高等商業學校の出身者を措き同時規模を

第五席　伯山改　神田松鯉口演

爲朝は狼に向ひ「汝等は猛き神なり、今、食を爭ひて互ひに傷つき痛む事あらば、我れ勞せずして兩つながら獲ん事易し、凡そ生とし活きるもの一たび命を失はゞ何の樂しき事あらん、我其肉を二つに同じやうに切つて遣はす程に、疾く爭ふ事を止めよ」と言ひつゝ弓の末を挿し入れ一撥ねすると反ねれば二匹の狼は大力の弓枝に支へられ、左右へハタと轉び伏し、再び挑み戰はんともせず、爲朝は腰なる刀引抜いて、肉を平國に住む者にて候、世父は元琉球國の人なるに切つてやりました、二匹の狼は其勇氣に怖れてか、將た又其言葉を解したのか、本に止り、肥後の菊池に奉公致せしが、祖妻を紹介せ

交沒してより故ありて浪人なし、再び此豎子の業すれば爲「オヽ今日は計らず厄介になりしぞ」と挨拶に及ぶ是れより鹿、猿の肉など炙りて秋待ます爲「オヽ我れ忘れ居りし彼等も嘸餓へしならん、心得て候」と鹿の股の肉を投げ與へまするか、二匹の狼は悦んで之れを食ひまする。

紀「左樣、狼奴でござる」と申す者、御目を掛け給はりたし」と申しまして、再び爭ふの氣色も無く、流るゝ血汐をペロ〳〵と舐め分つて貰ひし肉を食し、爲朝を後に歸り、世を渡る便りなきまゝ獵夫の業を致して居り申候、然し某は鳥獸を獲るに弓矢劍戟を用ゐず、只礫を以て狙ひ撃つに百發百中、凡そ八丁の内ならば、狙ひを定めて撃つ時は、必らず過まつと云ふ事これなく候、夫故八呼んで八丁礫の喜平次と綽名を付けられ候へ共茅屋へ御立寄り願はせ給へは之れに

デーエス パネリス商會
仁川本町四丁目
電話九五六番
顯原兄弟商會

新荷着廣告
上等トルコ煙草　各種
金口百本入、五十本入、廿本入、十本入
上等ロシア煙草　百本入　各種
上等葉卷煙草　廿本入　各種
マニラ百本入、五十本入、廿五本入
右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候
京城本町四丁目角

東京海上火災運送保險株式會社
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
京城代辦店　本町四山口吳服店　電話九番
事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

廣告

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戸
漢城病院下筋へ入る
箱信事　鳥山商店

馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
滋養と牛乳
衛生と消毒

韓國特約店
歐米雜貨
酒食料品
洋煙草類
金銀關美術品
直輸入商
京城本町二丁目
電三三丁目
辻屋
本店　電話二四八番
支店　電話三六六番

美術半襟帶上帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目　金ゑり德商店

京城新報

蔘業の前途

韓國に於ける蔘業は古來王室の宮源として數へられ、國民は自由に之を賣買するを許されざりき、其狀恰も王室の直營にして國民は一指だも之に觸るゝ能はずと云ふの觀ありき、然れども斯く嚴なる爲に却て盜者を生じ、夜陰窃に蔘畑に忍びて之を抜取るもの尠なからず、王室は之を防ぐが爲に終には兵を配置して嚴衛するに至れり、盜者は之にも屈せず番兵の眼を盗で之を抜去らんとす、之が爲に盜者と番兵と格鬪するの慘劇を演出するに至る、是を以て收獲時季の開城は殆ど戰爭の如き觀ありき、而して我邦人の漸次仁川京城に入込むと共に、開城に於ける人蔘耕作者の請に依り未收蔘を抵當として借金するものあり、之が爲に資金供給の邦人は其收獲時季に於ては盜蔘者を防ぐ爲に番守せざる可らず、當時に於ては在留日本人の少數なる爲に勢力微弱にして、較もすれば韓人盜蔘者の爲に暴行を加へらる、故に資金供給の邦人等は抜刀以て之を死守するの止むを得ざるに至る、邦人にして暴行者の爲に生命を殞すの悲慘なる狀態を見るに至り、兩國の國際問題を惹起せしことすらありき、元來韓國にては國民が自由に人蔘を賣買する能はざる規程なりしも、日韓條約には日本人は人蔘を買收する能はざるとの條項なき爲に韓人の懇請に任せて賣を供し、之が回收の爲には以上の如き慘劇を見ざるべからざるに立ち至れり、時の帝國公使及領事は之が邦人の保護には一方ならざる苦心をなしたるもの也。

今や時勢一變韓國は帝國の保護國となり財政の整理、宮中の肅清と共に蔘業は內閣院の手を離れて、度支部の所管となり、開城府に蔘政課を設置して、蔘業の改善を計るに至れり、兩三年來の虫害に依りて其收獲は夥しく減少せるも、蔘政課に於ては銳意虫害の驅除に勗めつゝあれば必ずや良好なる結果を見るに至るべし、頃者鈴木司稅局長の案內に依りて蔘業の實況を見るに從來の作業とは稍々面目を一新し、學理の應用によりて其耕作及製造に漸次改善を企てつゝあり、若し夫れ當局者が豫期する如く漸次改善進歩さるゝに於ては確實にして好個の財源たるに至るべし、兎に角蔘政課の設置により密賣により起れる慘劇を演ずるの跡を絶ちたるは最も喜ぶ可事なりとす

唯茲に論ずべきは前途何時迄も官營を續るの利なるか、或は自由に之を耕作賣買せしむるかの問題也、現在に於ては耕作及製造を改善する爲に多大の保護を要するを以て無論官營となし置くの必要あるべけれども、將來韓國の國產として擴張するには耕作者に自由賣買をなさしむるを可とせずや或は云ふ清國に於ける紅蔘の需用は限あり爲に韓國蔘を增殖するも販路なしと、こは甚だ誤れるの說にして供給增加するに從て需用も亦增加するは當然なり、要は唯其價格を維持するの點也、價格は多少下落するも其收獲を增收するの利ありとせずや、余輩は此點に於て當局者の眞面目なる研究を望まざるを得ざる也。

東京電報

▲伊公旅行と米國　伊藤公爵の滿洲旅行は日清協約に對する他國の抗議等辨材料研究の爲なりとワシントンより來電あり（十日）

▲明年度歲入不足額　四十三年度歲入は五億一千四百万圓計上せられたるも歲出に對し二千六百万圓の不足を呈せり（同上）

▲韓牛輸入と當局　本年八月五日農商務省にて發布せる韓國牛輸入規程を誤解し批難の聲を放つものあるも當局の談によれば該規程の發布は健全なる韓牛輸入を奬勵する爲めにして此際寧ろ盛んに輸入を努められたしと（同上）

▲早大最終の大捷　早稻田ウイスコンシン大學撰手の野球仕合は三勝零にて早稻田大學大に勝つ（同上）

▲キ元帥の入京期　キッチナー元帥は三十一日釜山港を出發し二日新橋着入京の豫定なり（同上）

▲我陸軍の大淘汰　目下陸軍省にて調査中なる各師團將校の進級は二十八日頃確定し親裁を仰ぐ筈なるが今回の大変迭は陸軍行政整理に基き將官以下老朽將校の大淘汰あるべしと（同上）

▲貴族院議員任命　宮城縣多額納稅議員山崎喜三郎氏は貴族院議員に任ぜられたり（同上）

▲三井組織成立す　三井物產會社は七名の取締役四名の監査役を又三井銀行は取締役七名監査役三名を選定し茲に三井の組織整更成立せり（同上）

▲農事技師の派韓　岡山縣農事試驗場技師青山三次郎氏は韓國へ出張を命ぜられたり（同上）

▲關東都督府豫算　關東都督府明年度豫算は既に提出されたるが工科學堂新設費約四十萬圓高等女學校費六万圓等の新要求ある外本年度と大差なし（同上）

▲古庄博士の渡韓　農學博士古庄由直氏農況視察の爲め韓國へ出張を命ぜられたり（同上）

▲伊山兩公の會見　伊藤公は來る十六日馬關發滿洲視察の途に上るべきに付き本日山縣公と會見し滿洲問題に關し懇談數刻に渉れり（十一日）

▲法權實施と樞議　韓國委任の司法及監獄實施に關する法規は十二日樞密院に御諮詢あり當局大臣は出席說明する爲め明十二日內閣會議は一日繰延べ十三日開會す（同上）

紐育電報

▲久邇宮の御出發　久邇宮及同妃殿下は十日桑港に着せられ十二日發歸朝の途に就かせらるゝ筈なり（十一日東京經由）

▲墨西其の大颶風　墨其哥ユーカタン沿岸に大颶風あり出漁中の漁夫二三千名溺死し非常の慘狀を極む（同上）

▲實業家團の消息　渡米實業團の一行は八日シラキユースに着し例の如く市の盛んなる歡迎を受けたり（同上）

▲日本人阿片輸入　日本人の數隻の船を用ゐ阿片密輸入せるを禁遏せん爲め米政府はセツツ號をして布哇群島を巡視せしむることになれり（同上）

▲探險家歡迎盛大　北極探險家クック博士はセントルイ、シカゴ、イリノイスに到着し何れも盛大なる歡迎を受けたり（同上）

▲トルコ政府否定　土耳古政府は露帝訪問の爲めヒヤヂニアに派遣したる特派大使がダーダネル海峽問題及クリトー島問題に付き交渉すべしとの報道を否定したり（十日東京經由）

雜報

●水道會社と民團

有限責任大韓水道會社支配人エッチ、ヂー、フホスターバーハム氏は水道給水料徵收並に南山水道の開放に關する民團の交渉及び當地二三新聞記事に對し熊谷民長に責任を負はしむるべく去る八日書面を以て交渉し來りたるを以て同民長は直ちに之れが回答を爲せしが今其往復文を左に掲載せん

▲會社の回答（十月八日民團の交渉に對して）

拜啓本月四日付南山水道の開放に關する御書面拜讀仕候處此の場合我々に對して御異議相成候事は不穩當ならんと愚考仕候尤も其は共用栓の自由使用停止の點に於て不穩當のものと申迚義に付此旨御了知相成度し右供給を閉鎖することが御困難とのことは小生に弊社仕候の間に締結したる契約の破壞と熟考仕候又本件に就ては貴下が貯水地を開放する以前小生に御協議可相成ものと愚考致候

小生は朝鮮新聞、大韓新聞の日本本三新聞中毎日散見する誹毀の言論を早くよりは注意致候此等の三言論は各自同一のものに付其の根源は共通のものなるべく小生は彼等の言論は貴役所に於て作成せられたるものと推斷致候貴下に於て斯かる事情を小生に知らしむべく十分なる誘意を得抱持相成候はゝ貴下は千九百七年十一月一日に調印したる契約第七項の小生は契約破壞の行爲者の如く當然相見へ候もの小生の自由の範圍內に於て思考致候

若し貴下に於て契約第十項の下に民團に仕馮ふ納金の計算に關して御疑念有之候はば（御疑念有之候樣相見へ申候）小生は第八項の下に如何に計算が相成居候かを檢査の權利を御使用相成候樣強く御勸告申上候

貴下と小生等の契約を離れて此の如き壓迫の行爲と相見へ候事柄は貴下の品位を保つものにても無之亦小生は小生と貴下との從前の關係に回復することを期待するの善友としての感情に於ても一致するものに有之間敷と存候

熊谷民長の回答（十一日）

拜啓本月八日付御書面拜讀致候處當民團の所有に係る南山貯水池開放の義は其用栓に關係無之當時三浦理事官より交渉せ一個人專用栓自由使用の報償に關し不當要求の對する一切拉流行期間に於て市民に向て無之として供給したる如く專用栓に付て之れが實行に際しては爲閉鎖の時期に關して御書面中朝鮮新報大韓日報、朝鮮日新聞の日本三新聞中毎日誹毀の言論の掲載せるは其の根源に付き當役所に於て作成したるものにして之れが實行に際しては爲閉鎖の時期に關して御書面中朝鮮新報大韓日報、朝鮮日新聞の日本三新聞中毎日誹毀の言論の掲載せるは其の根源に付き當役所に於て作成共當役所に於ては別に新聞に關する事務は何等の責任も無之候

貴下は貴會社と民團との契約書第七項を無視し專用栓の賠償に關して御推斷相成候へ共小生は過日貴下から來たる如く專用栓の非行賠償は貴會社の負担たるべきものと推斷云々と御記載有之候得共貴會社の意見は以て一時無料給水道水の引込に付ては理事官に關し相當勸誘の法も講ずべければ歸途理事官の意見も小生の善意に對し度旨申入れたるも貴下は何等容るゝ所無しと小生に付疑念致候

契約書第十項に基く貴會社より當民團に支拂ふべき水料の計算に付ては大に疑念致居候に付近日中御會見の要求可致其の時迄御通知可致候貴下は小生に對し紳士的態度にあらざるか如く御記載相成候へ共貴下か一種の意見を有するの人として御會社の支配人として當役所なる水道會社に對し無理の要求を爲すものゝ如く專用栓の賠償に關して小生

●怪美人の本性（上）

▲月に背いて忍ぶは誰

永樂町は趙麗相邸下の温突に寓するもなく遊び暮せる廿三四の美人あり了附近の若者が噂の種と成り居れるが大概三四日わきに索かに訪ね來る男あり何所の誰れにて如何なる關係あるものか知る人なきを好奇の誰彼が苦心の末に探り出したる所に依れば

▲産は大分中津町にして佐藤某の愛娘其の名を花梅と云ふ者なるが幼稚時に父親に死に別れたる後は母親の手一つにて甘やかし放題に育てられたるに加へて性來の淫奔者と乳の味を忘れぬ中にモウ男の味を覺へ誰れ彼れの容赦なく納屋の隅でも天井裏でも泥濘でも引つ張らるれば突も嫌ふと云ふ極端なる自然主義の不言實行に母親初め親戚等の屢叩いての强意見や湯禪に付いた蜜程に五月蠅がり母親さん達の

▲舊弊にも困て終ふとの怪氣炎畑にあつたら娘を棄てものと諦め果ては爲がまゝに誰れあつて意見する者もなきを好き事に彼れのも乙だが是の人のも一風異つた所があると摘み喰の餐を盡して居たが今より殆んど三年程前に其時丁度或る事の爲めに中津町に至り居し仁川のチョコマン博徒秋山武之助と云へるに手を出し一口喰めたが身の詰りた梅が秋山の旅宿に忍びし一夜のと秋山はれ梅に向ひ何うだい一番奮發して

▲二人一緒に仁川へ渡つて一花咲せ樣ではあるまいか何せよ此樣田舎と違ひ朝鮮と云つても仁川と云へば大きな港丈れに相手が金放れよき外國人や馬鹿で金のある朝鮮人の事なれば月に百や二百の金は寝轉んで居ても儲かるせ夫れに俺とて斯した交情に成つたれ前を此の儘に見棄てゝ歸る氣にはなれずれ前とてもが今迄の惡物語り俺に云つた事が嘘でなければ一緒に行くのは嫌でもあるまい年を老つた母親さんに不孝に當るとも思ふか知れぬが三年經たぬにタンマリと金を蓄めて歸つて來れば却つて夫が孝行ならずや然うと決心しねねと

▲胸に一物有明の燈、阿婆擦とは云へ世間の事情一切には暗いが定の田舎娘、其所を附け入る秋山が餌を撒き甘い話しに未來の榮華が眼に見る樣恍惚としてソリャ眞實かへれ前と一緒に云ふことなら古い文句と笑ふか知ねけれんど英彦山の奥でも八面山の谷底でも一向恐いと思はんけ、夫れだに何んの朝鮮の仁川と云へば話しにも聞く繁昌な所と頗ふても行つて見たいをれ前かから伴れて去んで遣らうとなられ母さんの一人や二人に心を殺しは爲ん付けにのう、れ剥けに豪かい金も儲かるとのこと早う伴れて去んで呉れんさい

●韓人遺族へ諭達

南部警察署長桐原警視は一昨十日午前管内在住韓人にして虎列刺病の爲め死亡せし者の遺族三十九名を署内に召喚し遺族に對し虎列刺病毒の恐るべき事より之が豫防撲滅の方法及び該病患者に對する當局者の處置埋葬死体の發掘すべからざる理由等を詳細且つ嚴重に懇諭したれば一同は皆其意を諒とし誓つて遺骨せざる旨を述べて退出したるが尚ほ死體を夜陰に乘じて發掘し他に運搬したる韓人二名に對しては防疫令違犯者として相當處分すべく目下訊問中なりと云ふ

●町奴の成れの果

新町遊廓月下樓のぼん太と云へるは粹樣先刻御存じの通り仁川淺間で町奴と名乘り一時は飛ぶ鳥落す勢なりしも仁川の不景氣は彼の法螺も吹き當らず一年半も働た揚句元金に倍增す借金を拵へ二進も三進も付かぬ處より當地に來り種々苦肉の策を講じたれど彼の凄腕を恐て一人として相談に應ずる者なく止を得ず新町月下樓へ僅に六百圓の前借にて一時女郎の仲間に這入りぼん太と名乘つて出でしが即ち町奴の成の果併し流石に江戸の本場で磨ぎ上た藝術と天性の美容とは忽ち廓内の呼び物となり義やむ朋輩を尻目に掛け一人金盛を極めつゝあるがドウカ長く續けばよいがと彼を知れる人々は内々氣遣ひつゝありとか

●歌留多會の盛況

當地歌留多界に其名高き霞會にては一昨日午前九時より明治町二丁目二十三番地小山金馬氏宅にて第一回月並例會を開催せしが斯界の驍將なども云はるゝ龍山の和田山、山根、大森、宗岡、久保添諸氏を始め參會し又會員藤原順治郎氏なし各自興に入り午後四時頃散會せしが中々の試合の際着くべき額章は蘆馬字ケーにして仲々振つたもの也し

●犬對牛訴訟判決

仁川府舊邑面西村里居住の丁根夏と云ふは一昨日自己の飼育せる牛の臀部を新町一丁目鄭船會社員村田龍次郎の飼犬の爲め咬傷を負はせられしとて仁川署に訴出でたるが取調の結果元々畜生同士の爭ひのことなれば右村田より金一圓を支拂せしめワンとも相濟みませんと謝つたのでモー云ふことは有りませんとて事濟みたりとは井出度し

●土砂崩壞して即死

去る九月午前十二時頃仁川月尾島檢疫所敷地に於て土砂崩壞し多數の死傷者を出したりとの急報に接し仁川署より警官時を移さず現場に出張して檢視したるに何れも檢疫所敷地の土工事に從事せる韓人のみにして麥千利（三）外一名は即死し重傷者一名ありしかば直に仁川病院に容收して應急手當を加へたり

●煙草代とて拳固

仁川京町二丁目居住の清商徐已翌（三十）と云ふは一昨日宮町二丁目洋食店屋韓人金元辰（三十）に十錢の煙草を賣り其代金を請求したるに亂暴にも鐵拳を振り上ぐるよと見る間に丁々發止と頭部を毆打されしかば警官出張右金は仁川署に引致せられたり

●各地方の虎列拉

十日より十一日午前六時迄の京城虎列刺新患者僅かに五名なり累計韓人九百九十九名日本人百四十六名△揚州一名驪州三名義州一名金國累計千七百三十人なり

●吳服商聯合賣出

京城本町林、山口、山枝、丸一、圓城、惠坂末永の各吳服商組合員にては聯合して來る二十日頃より各店が競ふて仕入れたる時節向き珍柄の大賣出を開始する由尤も今回は福引景品等を廢止し成るたけ價格を減少する而已ならず且つ非常に低廉なる正札を以て陳列し制引の累にしきを省く由なり

●泥醉者說諭さる

南部苧洞六拾一統一戶李致先（三）は一昨十日午後十一時過ぎ自宅に於て鱈腹飲酒しへゝレケとなり酔の拔藁のと管を卷き騷擾を極めしを巡廻中の韓人巡査安眠妨害として大目玉を喰はして家に引渡せり

●色慾鬼と消費高

一昨十日新町遊廓の色慾鬼は總計六十七人にして此消費額四百〇六圓六十一錢とは何時まで不景氣の續くとやら樓主連の膏息吐息もさこそと思ひやられて憐なりけり事ども

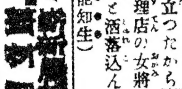
●福井茂兵衛來る

▲壽座舞臺開の爲

當地壽町壽座は三ヶ月の日子を費して宏壯なる新築を爲し既に舞臺開きの準備成りしに偶ゝ虎疫流行し一時興行の停止となり爲め同座にては益々設備を完成し彼の關西劇界の寵兒伊東文夫一派の上演として

新派劇界の泰斗

福井茂兵衛優を迎へ本月廿五六日頃を初日の見込にて交渉累纏まりたる由なるが同優は新派中尤も一流にして且つ其の多藝は新派中隨一と稱へられ目下神戸大黑座に河合武雄誰れに用が有つて來たのか知れないが早く歸つて呉れしばよいに上小さくなつてる耳元に風聞子さん此の れ方が一寸御聞き申したい事がある相ですと來た△生れてから女ある世間離れない生息子の風聞子だ驚かすには居られない



◀平民文庫

▲強告せし通り本日の平民文庫の幕は れきみ對小林某無關係話で引かれる△九日の午後四時頃我が編輯室へ急き切て飛び込んだ美……美……ビジンがある、ビジンでもなんでも女である筍且

●悲慘の種

大に世人の注意を要す

癩病は交際の花にて癩病の味を知らぬ者は一人前の資格なしと云ふ人あり甚だ極端に聞るも實際癩病が世上一般に大流行を極めつゝある事實を證明した音である何故に癩病の大流行を見るや其原因は取査する爲め學者が種々の研究をした所が專門の大學ウエルドハイム博士の實驗が頗る要領を得たもので慢性癩病の男子の膿を取りて健全な他の男子に移殖して見た所が急性の癩病を起した其急性癩病を起した所の膿を再び始の慢性癩病の男子に植ゑて見た所が慢性のが急に急性の癩病を起しました夫れは粘膜の深部に潜在する病毒が一たび他人の粘膜に移植する時は生活力を回復して新に癩病を喚起し我又再び之に感染して循環極なき理で癩病が漸々と蔓延する事が愈々判かる左れば惡遊する男子及數多の嫖客に接したる交際繁き良人を持つ婦人等はウエルトハイム博士の實驗を實地に行ふ人々なれば自ら癩毒の循環作用を試むる譯で其危險狀態は絶對である故速に適良の藥劑を用ひて癩毒を驅除するの必要を忘る可らず又梅毒は初め毛程の瘡が基で種々の難症を誘起し慢性の腦病脊髓病精神病等も梅毒の經歷ある人に多く發生し醫家の治療術にも何とも診斷の附かぬ病人に必ず一度は梅毒の療法を試みよと云ふ事がある位なれば梅毒癩癩病は臨床醫學の見地より深く實地に臨み親切に考査したる藥劑でなくては斷じて眞正に根治する事が不可能である凡そ梅毒癩病を根本的に治療するには必ず唯一丸を用ゆべし唯一丸は彼梅毒の病源体を發見して有名なる獨逸の大家ホフマン博士の處方に則り其の主藥（原料）は現世に於ける唯一の眞毒藥として醫學者に最も尊重せらるゝ藥劑なれば梅毒には身体内に蓄積する病毒の作用を中和し不純の成分を血液及組織内より驅除するの特効あり癩病に内服せば化學的作用にて必ず癩毒の死滅すべき成分となりて小便と共に排泄するもの故自然の洗滌法となりて癩毒を根治する事明かなり依て其病症の輕きは一二週間より重くも一ヶ月程にて拭ふが如く根治す故に有毒人は速に唯一丸を試よ而白き程効力あるべし

●注意妻妾ある人は自已の治療を行ふと共に妻妾の治療を忽にすべからず自已は一旦全治するも未治の妻妾と同衾する爲め次は松平公爵を勤め又唯年は五十を過ぎし老体でありながら舊派の娘形で名高き中村芝雀の房江に對し君江を勤め道頓堀劇場に花を咲かせたるが今回當地にての出目は伊東一派の「潮」にして福井は丸橋忠彌と二番狂言は一番目「丸橋忠彌」にして福井は丸橋と潮で妙子（本郷座で河合の勤めし役）を取る筈又一番目の桜平伊豆守は新來の小泉三狸が勤むる由因に伊東一座は目下釜山にて大々的組織を擴張し前記小泉三狸の外先年北村生駒の立女形たりし吉岡駒男及び愛澤一座の筆頭たりし閑室賢之助等高井欽哉も入座したれば韓國にては恐らく前後復た見る可からざる好團体なるべし

吉凶鏡

本町五丁目 三二館判顧

十月十二日 舊八月廿八日 一白大安乙巳あ

やぶ△一白 盜難陷穽防ぐべし新事見合の事酒宴女色を戒しむ△二黑 非運の日なり創始改易の事凶人より襲はさるゝ事あり女色盜害を避くべし△三碧 盛運と旅行裝物等効を遂ぐ只想外の散財事あり△四綠 總じて隆升の日なり萬進みなすこと吉無間中絶を戒して△五黃 龍攘虎搏大に活動を要する日なり否らざれば地位業務の上に不良の震動を來す△六白 小事は可大事は不可概して舊常に携はり非分の金錢囚△七赤 平靜の日なり上紛爭起り易し其他口舌の禍防ぐべし△八白 盜害遺失防ぐべし大事の決行に他人の意見を參酌すべし淺慮悔あり△九紫 水難火なり厄日とす萬づ戒飾すべし

右は概括的判斷なり各人格別に付て接同館の鑑定を請はる可し

●天氣豫報

（自十一日午後六時 至十二日午後六時）

十日（華氏） 最高溫度 七〇、七 最低溫度 五六、一

西北風晴れ後曇

マルンイド新新聞 藤原支店 電壹八九番 京城永樂町

▲品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の土耳古・埃及金口莫及葉巻各種（百本入七十五錢以上）大安賣御試み給へ 本町二丁目 直輸入商 見本無代 日希商會

廣告

菊花壇

例年の通り弊樓自慢の黃菊白菊數百株今を盛りと咲き亂れ本日より汎く縱覽に供し候條殿方は申迄もなく婦人樣方御連立ち御會席は御一人前壹圓五十錢にて山海の珍味を供し候

御參考

御注文に依り御一人前二十錢の茶菓差出候

新町 皆遊廓 春樓

菊見

弊樓儀致候付ては今般破天荒の改善を圖り來る十二日より張店となし客室の設備は勿論新たに數名の美妓を取揃へ一般粹客樣の御滿足を與へ度く殊に樓内には陳列し中にも天下一品と稱すべきもの有之候條秋の夜の長き徒然を慰むる資として賑々敷御來遊被下度奉希上候也

張店と菊見

增築中の落成

十二日より張店

黃白の菊數百本

天下一品

萬菊の如きは

京城新町 高島屋

菊花壇

希望の方は至急御來談ありたし

京城本町五丁目五十一番戶

十月十一日 梶原兄弟瑞穗商會

代理店

京城南大門外 新井藥房第二分店

京城本町三丁目 新井藥房第分店 電話四七八番

京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話下谷五百四十七番 振替貯金口座千五百番

藥劑師 中西莊吉

發行所 東京市本郷湯島天神表門中坂上

●本病患者の爲め其病理養生及び治療法を親切に詳述したる冊子無代施本送料二錢無料

●本病患者の爲め其病理養生及び治療法を親切に詳述したる冊子無代施本送料二錢

●注意妻妾ある人は自已の治療を行ふと共に妻妾の治療を忽にすべからず自已は一旦全治するも未治の妻妾と同衾する爲め更に其梅毒を感受するとあり依て妻妾の健康を恢復せざる限は如何に男子を治療するも無効に歸することは當然の理也

丸を試よ面白き程効力あるべし

藥價●三日分四十錢●七日分八十錢●十四日分一圓五十錢●三十日分三圓／內國送料無料

間商品原價の半額に大割引販賣仕候

店輔貸渡す

今回當商會都合により閉店仕候に付本日より向ふ五日間

十月十二日 梶原兄弟瑞穗商會

各種洗濯石鹸 専門製用 造販賣途

陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用　京城大濱門前　遠藤洋服店

●雇ひ　染織學校卒業商業に經驗あり商店を望む京城美洞三十統十一戸藤岡廣吉

●女中入用　三十才前後の婦人にして裁縫の心得ある人を求む　旭町一　旭町競賣所

●募集　敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社へ來談あれ

●求職　年四十五確實なる身元保證人あり如何なる事務をも厭はず姓名在社（四五五）

●少年入用　十七八才少年入用　大和町二丁目　爲春堂醫院

●被雇度　病醫院の醫局員として被雇たし　若草町一丁目にて官吏會社員向き　氏名在社（四四八）

物件部

●貸家　若草町一丁目　若草町一ノ二九　矢島

●貸家二軒あり　南山町二丁目二階建二間溫突外八畳外三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃面談　氏名在社（五六四）

●鐵用銃十號又は十二號至急讓受けたし　龍山老松町　上田病院

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

●電話讓渡したし　氏名在社（四四五）

廣告

開業廣告

當會社義豫て營業開始の準備中に有之候處工事も略ぼ整成致し候に付ては愈々來月上旬開業可致候間聯か開業の祝意を表する爲め左の通り實行可仕候に付き瓦斯引用御裂望の御方は此の際至急御申込み被成下度奉願上候

一、十月十五日迄に保證金を添へ申込まれたるものには無料にて瓦斯管の引込をなす但多大の材料を要するものは此限にあらず

一、十月十五日以後に申込まるゝものに對しては相當の引込料を申受くるものとす

一、十月十五日迄に申込まれたるものに對しては本年中瓦斯代金二割引をなす

日韓瓦斯電氣株式會社

鐘路　電話（京）一五二
龍山　電話（龍）三二七

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸蓋の御滿足を得實地御試用被下度候

●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

特價　六圓五十錢　五圓五十錢

深ゴム靴
アミ上靴
淺ゴム靴

東京城本町一丁目（郵便局前）　北村支店　店主　磯部廣吉謹告

十月十日より十五日まで

冬物大賣出し

見切反物並に寄裂類時節柄延期致し居り候處愈々開始仕候今回は増築工事落成店内廣濶且御休息所を新設仕候に付き例年より一層澤山取揃御覽に入れ候間何卒多少に拘はらず御買上の程伏て奉願上候

十月

京城本町

三越呉服店

電話三五二

値上廣告

清酒一挺に付金一圓以上
同一升に付金五錢

右は冷却發賣に付値上仕候間倍舊御引立願上候

京城酒商組合
同　各販賣店

荒物世帶道具一切
大坂製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候御弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤鶴（アサヒ）麥酒（サッポロ）
並に買次業

京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇　電略（ニカ又はニ）
振替貯金口座東京（九四一七番）

猟期來れり

新着獵銃各種

冬物雜貨品揃

洋家具　京城南大門通り　藤木商店　電話五百八十三番

敷物類　仁川港本町一丁目　藤木利右衛門　電話四十番

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛に食料に注意を要す　弊場風に此に留意し好良の食料を給す

●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御耀君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

京城本町五丁目（電四七番）
販賣元　仁川　松尾支店
京城東四軒町（電七五番）
搾取所　松尾牧場

朝日石鹸製造所

今般當事務所ハ左記頭書ノ通リ業務擴張シタルニ付私儀自今午前九時ヨリ午後三時迄事務所ニ於テ勤務致シ御依賴ノ事件ハ迅速確實ニ取扱充分各位ノ御便宜ニ應ジ可申候條條層一層御愛顧ノ程ヲ伏テ奉願候

尚秘密ヲ要スル事件ハ別室ニ於テ取扱可申候

業務擴張廣告

諸訴訟鑑定、契約起案
諸債權ノ取立及事件仲裁
諸公債株式ノ擔保貸金及賣買
諸登記證書類ノ作成
諸願屆書類ノ作成
土地家屋賣買金錢貸借
土地家屋ノ管理及電話仲介
鑛山賣買測量製圖
信用程度ノ調査

明法學士　小川勝平
事務所　京城本町一丁目（電話四一番）
同　大邱東門外

祝開業三週年

江湖御客様方の御引立に預り日まして繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらゝ可祝

並等　壹圓
特等　壹圓半
特等　貳圓

但御酒は上記代金の内にて召上り次第

尚々十八以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目
電話七三五
梅の家

會席一膳附

尚々十八以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目
電話七三五
梅の家

蒸溜牛乳消毒

京城大和町一丁目
平山牧場
電話一二三

特約販賣
自製
醬油
漬物
味噌
製造元

大上商店

京城本町五丁目

（電話二二五一番）

和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

營業科目

活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番
出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

表裝一切　製作販賣

原料を精撰し技術審美的にして價格亦頗る廉價なるは弊堂の特色!!

古香堂主　京城明治町二丁目　山本平治

京城明治町一丁目
醫學士　佐佐木醫院
佐佐木四方志
（電話八一二番）

京城明治町一丁目
京城碁會

●毎日午後　開會諸君
●子陸續罷臨を賜へ
●市中之仙境

●消閑之清遊

（大和湯前○万醫）

特定御用
清涼
花井牛乳
花井牧場
電話一〇五六

日本郵船株式會社
仁川海岸通
滊船出帆廣告
貨物及船客取扱店
電話三九番
郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行
山東丸　十月二十四日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　十月十四日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸　十月十二日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　月　日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸　十月　日午後出
●大連、元山、清津、浦鹽行
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄
御送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本
注意船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞附錄　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金百錢▲六ケ月前金百四錢▲郵税一ケ月金拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別五號活字十九字詰一行金六十錢▲特別大勉强
賣行兼印刷人　高木久馬
印刷人　橋久神一郎
發行所　京城西門小門通　京城新報社